



悠久会 埼玉支部 会報

新潟大学 工学部 同窓会

(第25号)

発行：悠久会 埼玉支部

発行者：支部長 鯨井 和幸(電S47)

編集者 (同上)

発行日：令和8年4月29日

悠久会 埼玉支部 総会(第31回)のご案内

拝啓 新緑の候、支部会員の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、令和8年度の悠久会埼玉支部総会を、下記のとおりご案内いたします。

当日は、母校・本部ならびに近隣支部から、多数のご来賓をお招きいたします。

ご多忙とは存じますが、皆様お誘い合わせの上、多数ご参加いただきますようお願いいたします。

尚、準備の都合上、5月23日(土)までに到着しますよう、同封の葉書にて出欠のご連絡を頂きたくお願いいたします。

敬具

記

1、日時 令和8年5月31日(日) 11:00~16:00
(例年より、一週間ほど早い開催となっています。)

2、会場 東晶大飯店

住所 さいたま市大宮区宮町2-28 あじせんビル3F

電話 048-644-0881

交通 大宮駅 東口より徒歩5分

3、式次第

第I部 総会 11:00~12:00

総会議事

母校・本部近況紹介

埼玉全国総会準備状況について 他

第II部 講演会 12:00~12:45

「ダム機能と型式」

埼玉支部 副支部長(会計担当)

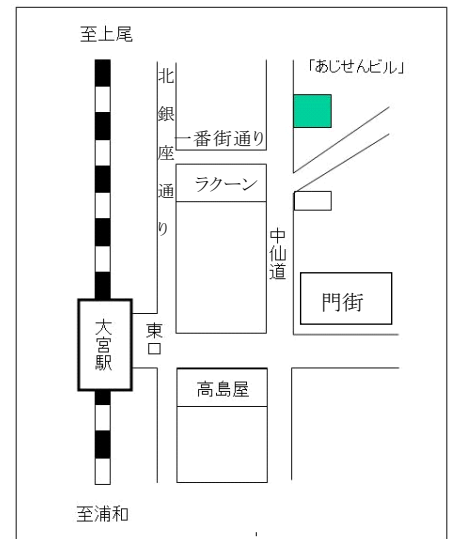
遠藤 哲雄 氏(土S60卒)

(…記念撮影…)

懇親会 13:00~16:00

(…今年も、二次会(カラオケ)を盛大にやりましょう。)

4、参加費 8,000円 (但し、学部卒業後5年未満の方は、ご招待とさせていただきます。)



尚、返信用葉書にはメールアドレスの欄がありますが、勤務先/ご自宅とも支部からの案内を差上げて支障の無いアドレスをお書きください。(両方でもかまいません。)

ご返信の宛先は、埼玉支部・事務局 出井 道夫(機S52)宛となります。

又、メールでの返信も歓迎します。下記アドレスに必要事項を記入して返信して下さい。

kwgid@nifty.com

支部年会費 納入のお願い

埼玉支部の年会費は2,000円です。支部総会案内や会報の作成・印刷他、連絡費用等の活動資金です。同封の郵便振替用紙をご利用ください(通常払込料金無料)。健全な支部活動を継続するためにも、支部会員の証としてぜひご納入いただきますようお願いいたします。

ネットバンキングをご利用される方は以下の口座までお願い致します(恐れ入りますが、振込手数料はご負担ください。)

ゆうちょ銀行 〇一九(ゼロイチキュウ)店 当座預金 0151409 口座名: 悠久会埼玉支部

今年の全国総会は埼玉（川越）です。

埼玉支部 支部長

鯨井 和幸（電気 S47）

いよいよ、埼玉での三度目の全国総会が開催される年となりました。

川越は埼玉県内では地図上のほぼ真ん中に位置しますが、文化・経済的には西部地域の拠点となっている街です。

嘗て、江戸時代より荒川と並行して流れる新河岸川を通じて水運で江戸とつながり、独特の江戸文化を花開かせました。

その面影は今も市内のあちこちに垣間見ることができます。

そこで、タイトルは…、

「時の鐘と蔵の街 小江戸川越総会」

日時： 2026年(令和8年)6月27日(土)～28日(日)

会場： 「ウエスタ川越」

川越市新宿町 1-17-17

…JR/東武「川越駅」西口より徒歩約5分

TEL: 049-249-3777

「ウエスタ川越」は、埼玉県と川越市が共同で建設し運営する、県西部地区の交流・活動の拠点となる公共施設です。

言わば、巨大な公民館です。

館内には、大ホールの他、大・中・小の各種会議室等が設備されており、これらの部屋を利用し、各イベントを開催してまいります。

場所は、「川越駅」の西口（時の鐘や蔵造りの街とは、反対側。）、

駅出口から徒歩5分程度ですが、丁度真ん中ほどの所（「歩行者デッキ」が切れる所）に、

「U PLACE」と言う複合商業施設が有り、その上階に希望者にお泊り頂く「川越東武ホテル」が、あります。

翌日の観光旅行も、一部バスを利用し、市内の名所巡りを計画しています。

（詳細は、「時報 第149号」に掲載いたします。併せてご覧ください。）

是非、多くの方にご参加頂けますよう、お願いいたします。

また、公共施設ゆえの手の問題もあります。お手数の取れる方は、スタッフとしてお手をお貸しください。



本支部会報に同梱させて頂いている返信葉書ですが、今回より切手を貼って頂く様に変更させて頂きました。

支部発足以来、切手不要で運用してまいりましたが、一昨年秋の郵便料金値上げで限界となりました。此のまま続きますと、郵便料金だけで支部会計が破綻してしまいそうです。

大変申し訳ありませんが、事情お察しの上ご理解頂きますようお願いいたします。

尚、電子メールをご利用できる方は、ぜひご利用下さい。

鯨井(支部長)のアドレスは、 ⇒⇒ is09052084342@docomo.ne.jp

また、返信葉書の宛名欄に有ります、

出井(副支部長)のアドレスは、 ⇒⇒ kwgid@nifty.com

どうぞ宜しくお願いいたします。



融合が拓く工学の未来

— 川越から次世代へ

工学部長 山内 健

すがすがしい新緑の季節を迎え、悠久会埼玉支部の会員の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。昨年度より工学部長を務めております山内 健です。

本会報を通じて、工学部の現状と今後の展望、そして同窓会との連携について引き続きご報告できることを大変嬉しく思います。

本年4月3日、朱鷺メッセにて入学式を挙行し、工学部は新入生552名、編入生20名を迎え、新たな歩みを開始いたしました。本学は総合大学の強みを生かし、分野横断型の文理融合教育を推進しております。なかでも「メジャー・マイナー制」は、専門性（メジャー）を軸にしながらい他分野（マイナー）を体系的に学ぶことができる柔軟な制度であり、学生一人ひとりの関心と将来像に応じた学びを実現しています。さらに本年度より大学院は「総合学術研究科」として再編され、文理の枠を越えた高度で横断的な教育研究体制が整いました。

教育手法においても、分野や専門を越えて学び合うアクティブラーニングの重要性が一層高まっています。工学力教育センターでは、学年や専門を越えた学生がチームを組み、地域や国際社会の課題解決にアクティブラーニングで挑む実践型教育を展開しています。現在14チームが活動し、国内外の大会で成果を上げております。例えば昨年度は「未来を拓くニッポン・アイデアコンテスト」審査委員賞、第73回日本工学教育協会年次大会国際セッションでの発表賞などが挙げられます。また、日本人学生と留学生が協働する国際交流型インターンシップでは、多様な視点の融合が新たな発想を生み出しています。

さて、本年度の悠久会全国総会は小江戸・川越にて開催されます。江戸は、まさに「融合」の象徴ともいえる時代でした。蘭学により西洋医学や天文学が取り入れられ、『解体新書』として結実した一方で、葛飾北斎や歌川広重の浮世絵は、クロード・モネやフィンセント・ファン・ゴッホらに影響を与え、東西の美が交差しました。さらに食文化においても、天ぷらや砂糖文化など外来の要素が日本の生活に溶け込み、独自の文化が花開きました。

このような「融合」の精神は、現代の工学教育にも通じるものです。異なる分野や文化の交差からこそ、新しい価値が生まれます。川越の地で、江戸の風情に思いを馳せつつ、これからの工学部の在り方や人材育成について、皆様と語り合えることを心より楽しみにしております。

今後とも、工学部の教育・研究活動へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



リカレント教育と生涯学習

悠久会理事長

寺尾 正義（電 S52 卒）

4月3日に朱鷺メッセで新潟大学の入学式が行われ、私も参加させてもらいました。今年の新入生は2,415名で、新入生代表の挨拶は工学部生の松本さんが務めました。新入生はこれから4年間（工学部は60～70%の方が大学院まで進学されるようですから6年間）を五十嵐キャンパスで勉学に励まれることだと思います。

ところで皆さんはリカレント教育という名前を聞いたことがあるでしょうか？大学等の教育を修了した以降でも、仕事やキャリア形成などの自分の必要に応じて学び直しをすることを言います。特に技術の進歩が激しい昨今では、リスキリングという形で企業主体の活動が行われることも多いようです。

私も工学部の電気工学科を卒業したのは良いものの、入社したのが機械系の会社だったため、機械の知識を一から学び直すということになりました。入社当初は『ドラフターを使え。』と言われてもドラフターが何だか分からず、機械用語もちんぷんかんぷんと言う有様。正社員登用試験にも何回か落ちて、同期の中で最後に合格することになりました。しかしその時に真剣に勉強したこともあって、必要な機械の専門知識が身に付いたのだと思います。その後も、新たな製品開発があるたびに、新潟大学の専門の先生の所に伺ったり、共同研究を通じて最新の技術に触れたりとリスキリングの機会は多くありました。

ところで昨年末に同じ卒研の仲間たちと忘年会を行っている時に、参加者の一人が『退職してから新潟大学に行って、数学を習っている。』と言ったのに、驚くとともに感銘を受けました。正直言って私は大学の時もさして数学は好きではなく、いまさら行列式や線形代数などと言われると頭が痛くなりそうに感じたものです。しかしその方は『昔習っていても理解できなかったことが、今聴いてようやくわかった。』とのこと。仕事をしていた時は、忙しくてとてもそんなことを考える余裕も無かったが、今はボケ防止も兼ねて定期的に外に出られて健康にも良いそうです。

私も昨年、長らく勤務していた会社を退職しました。幸いと言うか不幸と言うか、町内会の会長や菩提寺の世話人の役目が回ってきたため、今のところ急に暇になるという事は無さそうです。今の町内会は、昔ながらの神社の祭礼や一斉清掃活動、防災訓練だけではなく、SDGs 推進の活動も行っております。これらの活動を通じて、今まで住んでいても全く分からなかった地域の歴史を勉強し、ご近所に住んでいた人たちとの交流が始まりました。生涯学習ということに身染みて感じた一年でした。皆さんもご自分の地域の歴史を調べてみてはいかがでしょうか？新たな発見があるかもしれませんよ。

「ふれあい・さいたまウォーキング」 活動報告（令和7年度）

埼玉支部 副支部長
出井道夫（機S52卒）

埼玉支部の恒例行事「ふれあい・さいたまウォーキング」の活動を報告します。
歩いて訪ねる埼玉再発見の旅です。令和7年度は、4回のウォーキングを行いました。

第72回 浦和の公園と緑道を訪ねる旅

期日：令和7（2025）年6月15日

緑がまぶしくなった、公園と緑道を巡りました。
武蔵浦和駅がスタート、ゴールで、荒川彩湖公園、秋ヶ瀬緑道、別所沼公園を歩きました。



第73回 高麗神社から巾着田を訪ねる旅

期日：令和7（2025）年9月28日

高麗川駅から高麗神社、高麗川遊歩道を歩いて
巾着田を訪ねました。巾着田は“曼珠沙華まつり”
で賑わっており、真っ赤な絨毯が見事でした。



第74回 石神井公園の紅葉を訪ねる旅（練馬区）

期日：令和7（2025）年11月30日

“都心のオアシス”と言われる石神井公園で、紅葉
を楽しみました。西武柳沢駅から東伏見稲荷神
社、武蔵関公園、石神井川遊歩道を歩きました。



第75回 元荒川沿いの桜堤を訪ねる旅（蓮田）

期日：令和8（2026）年3月29日

白岡駅から、蓮田の元荒川河川敷公園へ向かい
ました。絶好のお花見日和になり、ほぼ満開の
桜の下で花見酒を楽しみました。



埼玉支部ではこれからも季節毎に、「ふれあい・さいたまウォーキング」を計画します。興味のある方・参加希望される方には、案内をメールでお送りしますので、お気軽に下記アドレスにご連絡下さい。県外支部や他学部からの参加も大歓迎です。同窓生と気楽に歩いてみませんか。

連絡先：出井（機S52）：kwgid@nifty.com

※）昨年度までのウォーキングの記録を、悠久会ホームページの埼玉支部のサイトに掲載しています。
新潟大学工学部同窓会悠久会>支部の活動>北海道・東北・関東>埼玉支部>ウォーキング

